

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：32001

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇生徒及び保護者アンケート、及び教職員アンケートから、「北辰中学校は、学習環境が整い、学習指導に工夫や改善があり、楽しい授業が行われている」ことがわかる。</p> <p>◇各教科への関心も高く、全国学力・学習状況調査において、全国平均を上回る項目が多く見られた。日々の授業において、基礎・基本の積み重ねを重視した取り組みが定着しており、その成果が表れていることがわかる。</p>
	<p>◇全国学力・学習状況調査において、学習の場面でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用する割合は、全国平均の53.2%に対し、本校では15.1%と大きく下回っている。一方で、使用スキルや活用の的確さは全国とほぼ同等であり、場面に応じた効果的な活用がなされていることがうかがえる。しかし、多面的な学習方法の習得には課題が見られる。</p>
	<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇札幌市の重点課題である「自分のよさや可能性に気づく」という観点においては、全国学力・学習状況調査において平均が86.2%であったのに対し、本校では90.9%という高い結果となっており、自己肯定感の高まりが感じられる。また、学習についての生徒アンケートでは「基礎的な学習を教えてくれる」「正しく評価されている」と実感している生徒が多い。学習活動において、グループ活動や話し合いの機会が設けられており、積極的に活動する中で、互いの考えを尊重しながら協働的に学ぶ姿勢が身につけていることから、この基盤を生かし、互いの考えをより深く交流し、学びを広げていく取り組みを工夫することで、より深い学びへとつながることが期待される。</p>
<p>「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力</p> <p>「本物の経験」を通して主体的・協働的に学び解決していく力</p>	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>(1) 北辰中学校研究主題：生徒の「自分で学ぶ力」を育てる方法の研究 ～生徒が自らの学習を主体的に進めていくために私たちができること～</p> <p>(2) これまでの学びを社会に生きて働く本物の経験として発揮できるように、「直接体験の場」や「自己決定の場」「失敗から学べる場」などを創出し、多様な学びの場を提供する。また、多様な生徒の実情や能力、特性に対応するため、学年や関係組織、そして全校の協力体制、地域の力により、学びを支援する体制を維持する。</p>
	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>①本校独自の取組である「造形の日」の活動や、生徒会主催の「花植えボランティア」など生徒が主体的に活動する場面の充実。</p> <p>②パートナー校と連携した交流・協議の場の設定。 ・生徒会児童会会議の実施 ・3年生による小学校訪問 ・長期休業中に実施する部活動見学体験会 ・行事紹介、中学校生活説明会をリモートで実施</p>
	<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p> <p>◇毎時間の使用には至らないものの、本校では、ICT機器に依存しすぎない丁寧な学びや、思考の過程を大切にする学びが基本となっている。パートナー校である小学校では、ICTを文房具のように扱うなど、児童が主体的にICTを活用していることから、学びの質を高めることに重点をおき、情報の収集・整理・比較・発信等、小学校での学びを生かした取り組みを行う。</p>

<本プログラムの実行に向けて>

